

平成 30 年度 第 11 回 名古屋市立大学病院臨床研究審査委員会議事録

日時 : 平成 31 年 2 月 20 日 (水) 午後 3 時 30 分から午後 5 時 10 分まで

場所 : 医学研究科・医学部研究棟 1 階 非常勤講師控室

出席者: 委員長 齋藤 伸治 名古屋市立大学病院小児科部長 (医学/医療)
 委員 青木 康博 名古屋市立大学大学院医学研究科法医学分野教授 (医学/医療)
 窪田 泰江 名古屋市立大学看護学部臨床生理学分野教授 (医学/医療)
 福留 元美 名古屋市立大学病院看護部副看護部長 (医学/医療)
 葛島 清隆 愛知県がんセンター研究所腫瘍免疫応答研究分野分野長 (医学/医療)
 杉島 由美子 中京大学法学部教授 (法律)
 宮前 隆文 宮前法律事務所弁護士 (法律)
 天野 初音 天野社会保険労務士事務所社会保険労務士 (一般)
 吉田 健一 名古屋市教育スポーツ協会副理事長 (一般)
 欠席者: 委員 塚田 敬義 岐阜大学大学院医学系研究科教授 (生命倫理)
 中途参加 (※): 安藤 明夫 中日新聞社編集委員 (一般)
 ※ 午後3時46分 (議題②より参加)

1. 議事録確認

第 10 回の議事録の確認がなされ、了承された。

2. 議 題

①特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A008
課題名	不育症患者に対する抗凝固療法
実施計画提出日	平成 31 年 2 月 12 日
研究責任医師	杉浦真弓 (名古屋市立大学病院産科婦人科)
説明者	杉浦真弓 (名古屋市立大学病院産科婦人科) 北折珠央 (研究分担医師: 名古屋市立大学病院産科婦人科)
審議参加委員	齋藤伸治、青木康博、窪田泰江、福留元美、葛島清隆、杉島由美子、宮前隆文、天野初音、吉田健一
COI 該当委員	該当なし
審議対象研究に関与する委員	該当なし
審議結果	承認 ・全会一致

審議: 午後 3 時 38 分~3 時 46 分

②特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A009
課題名	原因不明不育症患者に対する G-CSF 療法
実施計画提出日	平成 31 年 2 月 10 日
研究責任医師	北折珠央 (名古屋市立大学病院産科婦人科)
説明者	北折珠央 (名古屋市立大学病院産科婦人科) 杉浦真弓 (研究分担医師: 名古屋市立大学病院産科婦人科)
審議参加委員	齋藤伸治、青木康博、窪田泰江、福留元美、葛島清隆、杉島由美子、宮前隆文、天野初音、安藤明夫、吉田健一
COI 該当委員	該当なし

審議対象研究に関与する委員	該当なし
審議結果	承認 ・全会一致

審議：午後3時48分～4時00分

③特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A012
課題名	糸球体疾患に対する上咽頭治療
実施計画提出日	平成31年2月13日
研究責任医師	福田道雄（名古屋市立大学病院腎臓内科）
説明者	福田道雄（名古屋市立大学病院腎臓内科）
審議参加委員	齋藤伸治、青木康博、窪田泰江、福留元美、葛島清隆、杉島由美子、宮前隆文、天野初音、安藤明夫、吉田健一
COI該当委員	該当なし
審議対象研究に関与する委員	該当なし
審議結果	継続審査 ・全会一致

審議：午後4時02分～4時58分

3. 報告事項

簡便審査結果報告

①特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A004
課題名	ロボットスーツ HAL 医療用下肢タイプによる訓練効果に関する研究—パーキンソン病患者における検証—
研究責任医師	小川鉄男（名古屋市総合リハビリテーションセンター附属病院）
審査結果	承認
通知書発行日	2019年2月20日

②特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A010
課題名	パーキンソン病関連疾患の歩行障害に対する新規リハビリテーション治療の確立
研究責任医師	植木美乃（名古屋市立大学病院リハビリテーション科）
審査結果	承認
通知書発行日	2019年2月20日

③特定臨床研究 法施行前からの継続研究に対する進捗状況に応じた事項に関する実施の適否の審査

整理番号	2018A011
課題名	早期アルツハイマー病に対する5-アミノレブリン酸の臨床的効果の検討—プラセボ対象探索的二重盲検試験
研究責任医師	松川則之（名古屋市立大学病院脳神経内科）
審査結果	承認
通知書発行日	2019年2月20日

④特定臨床研究 実施計画にかかる変更の適否の審査

整理番号	2018A005
課題名	切迫流・早産における子宮頸管ペッサリーの有用性に関する検討

研究責任医師	尾崎康彦（名古屋市立大学病院高度医療研究センター）
審査結果	承認
通知書発行日	2019年2月20日

4. 今後の予定

次回は3月6日午後5時半開始予定との周知があった。また、次年度の委員会の開催日程の確認と、次年度も引き続き委員を継続していただきたいとの依頼があった。